

2024年 第71回応用物理学会春季学術講演会シンポジウム T13

プラズマが拓く ナノ粒子・量子ドットの新展開

Plasma Explores New Frontiers in Nano Particles and Quantum Dots

2024年3月23日(土) 13:30-18:00

プラズマによるナノ粒子・量子ドットに関する研究は古くからあり、ダストプラズマ物理分野からはじまり、現在は、熱プラズマや低圧プラズマなどを用いた材料合成への応用が大きく進展しています。

本シンポジウムでは、ナノ粒子・量子ドットの研究に関して、基礎から種々の応用まで俯瞰できる内容のシンポジウムを目指しました。第一線で活躍されている学术界および産業界からの研究者の講演を通じ、今後の材料開発の方向性について、包括的な理解とヒントが得られる機会になれば幸いです。

【招待講演者】

布村 正太 (産総研)

プラズマ反応場とナノ粒子生成: 成長制御と応用展開

橘 勝 (横浜市立大)

加熱やプラズマ処理による天然物からのカーボン量子ドットの合成とその応用

中村 圭太郎(株日清製粉グループ本社)

熱プラズマ法によるナノ粒子合成とその応用に向けて

茂田 正哉 (東北大)

数値解析的研究を拓く: 合金ナノ粒子雲のエアロゾルの集団生長を表現する
数値モデルと計算アルゴリズム

神原 淳 (大阪大)

ナノ粒状デバイスの実装指針とナノ粒子表界面制御

今井 隆浩 (東芝インフラシステムズ(株))

ナノ粒子の応用 —電気絶縁材料の高性能化—

高橋 和生 (京都工芸繊維大)

微粒子プラズマの物理

—クーロン結晶から微粒子間相互作用、微小重力科学まで—

主催: プラズマエレクトロニクス分科会

世話人: 鎌滝 晋礼(九州大), 八田 章光(高知工科大), 伊藤 昌文(名城大)

